中近東文化センター企画展
3月19日(土)～7月10日(日)

「小説に読む考古学～松本清張文学と中近東～」展

中近東文化センター主催、三鷹市・武蔵野市共催。

松本清張の作品に登場する土器、円筒印章、ガラス碗などや中近東の映像を紹介するとともに、作品に表れる「武蔵野」を文学散歩します。

◆開館時間　水・金・土曜日の午前10時～午後５時（入館は４時30分まで）

◆入館料　一般800円、高校生・大学生500円。65歳以上および中学生以下は無料。三鷹市・武蔵野市在住の方は、優待料金100円。

※免許証、保険証、住民票、外国人登録証明書などの住所が分かるものを必ずお持ちください。

◆展示解説　期間中の毎月第１・３土曜日の午後１時から企画展の展示解説を行います。

◆催し　期間中の土曜日に連続して７回の講演会、前進座による朗読劇、文学散歩などの企画を予定しています。くわしくは中近東文化センターへお問い合わせを。

また、企画展の開催時期に合わせて、第三展示室で出光美術館コレクションから「出光美術館名品選」と題して、中国・日本の工芸品を常設展示します。

⇨同センター☎32－7111・FAX31－9453

モスク風の建物を描いた松本清張のスケッチ画

1960年の新人たち展
3月21日(休)まで

豊福知徳「半円柱Ⅰ」1964年

江口週「作品G－No1」1960年　三重県立美術館蔵

㈶三鷹市芸術文化振興財団・三鷹市美術ギャラリー主催。

◆会場　第１会場／美術ギャラリー、第２会場／芸術文化センター・アートスタジオ

◆休館日　月曜日（３月21日は開館）

◆開館時間　午前10時～午後8時

※入館は午後7時30分まで

◆観覧料（２会場共通）

一般800円・学生（中・高・大）500円

※65歳以上、小学生以下および障がい者の方は無料

この記事を切り抜いて展覧会にお持ちください。2人まで一般入場料800円を640円に割り引きます。

⇨三鷹市美術ギャラリー☎79－0033

※2月15日に新聞折り込みされたMitaka Arts Newsで作家・作品名が間違っていました。お詫びして訂正します。

第10回まちづくりフォトコンテスト
「とっておきの三鷹」入賞作品発表！

㈱まちづくり三鷹主催の第10回まちづくりフォトコンテストには、今年も市内外から約370点の応募作品（大判部門118点、サービス判部門155点、デジタル部門101点）がありました。デジタルカメラの普及に合わせるように、今年はデジタル部門の応募が増え、阿波踊りなど市内イベント時の写真が多く寄せられました。

1月18日に日本写真家協会会員の伊藤則美審査員、マルチタレントのケイ・アンナ審査員、主催者により、厳正な審査が行われ、以下のとおり各入賞作品が決まりました。

表彰式は3月7日㈪午後2時から作品展会場で行います。入賞者には賞状、賞金のほか協賛企業・団体から副賞が手渡されます。

⇨㈱まちづくり三鷹☎40－9669

◆協力　みたか観光ガイド協会

◆協賛企業・団体（五十音順・敬称略）

東京井の頭ロータリークラブ／東京コカ・コーラボトリング㈱／東京三鷹ロータリークラブ／東京むさし農業協同組合三鷹支店／西東京リコー㈱／日本アイ・ビー・エム㈱／日本無線㈱／㈶三鷹国際交流協会／㈶三鷹市芸術文化振興財団／三鷹商工会／三鷹青年会議所／武蔵野三鷹ケーブルテレビ㈱

◆作品展◆

３月７日㈪～13日㈰午前10時～午後8時（最終日は6時まで）、三鷹産業プラザ７階特設会場で。

入賞作品

大判部門金賞

「御輿を担ぐ人々」倉澤誠也さん

この作品で決まりでしょう。やはり日本はお祭りが似合うんですね（伊藤審査員）。

揃っている人々の腕から一体感を感じます。「まつりの美しさ」が伝わる、良いカメラ位置を選ばれてますね（ケイ・アンナ審査員）。

サービス判部門金賞

「阿波おどり最高潮」永原澄子さん

数多く撮られたことでしょう、その中でこの一点を選んで応募されてくることに感心しました。子どもたちが一生懸命見ているその表情がいいですね（伊藤審査員）。

生きている動きとでもいいましょうか、画面から伝わる雰囲気が素敵です(ケイ・アンナ審査員)。

デジタル部門金賞

「憩い」樋上寛さん

この女性の目がきちんとうつっているでしょう。目線がいいんです。そして、左の木肌が気にならない。まとまりのある作品です（伊藤審査員）。

人物の位置、目線の方向など、本当にシャッターチャンスをうまくつかんでいてびっくりです（ケイ・アンナ審査員）。

〈敬称略〉

◆大判部門　**金賞**　御輿を担ぐ人々（倉澤誠也）、**銀賞**　燃える夏・阿波踊り（千葉俊廣）、**銅賞**　ノッポのおじさん（松永正行）、ボランティア（板橋久夫）、美手踊（中西恒雄）

◆サービス判部門　**金賞**　阿波おどり最高潮（永原澄子）、**銀賞**　ママ早く!!（塚本美由紀）、**銅賞**　果敢な両雄（高義淳子）、応援（福原正雄）、春の井の頭公園（桑原富子）

◆デジタル部門　**金賞**　憩い（樋上寛）、**銀賞**　小春日和（三上茂）、**銅賞**　歓声（吉田久明）、小春日和（石井進）、晩秋の井の頭公園（原田恵一）

◆審査員特別賞　市長さ～ん!!（藤田勝）、栄光の掛け橋（高義勉）、ふれあい（林良子）

◆まちかど発見賞　街の清掃活動を終えて（本橋省吾）、ふれあい（祓川昭）、いちばんあつい日①（Manfred Veigl）、春の弁財天（能登正俊）、大沢の里で（水車）（飯塚伊左）

本はともだち 184
散歩に行こう

ぽかぽか陽気の日は、外へ出かけたくなりませんか。今回は散歩、お出かけの本を5冊紹介します。

ここで紹介した本をお読みになりたい方は、図書館までお問い合せください。

「バルボンさんのおでかけ」
とよたかずひこ 作／アリス館

朝です、ワニのバルボンさんが、お出かけします。バスにのってバルボンさんは、いったいどこへ行くのでしょうか。

「ちいちゃんのさんぽ」
しみずみちを 作／ほるぷ出版

ちいちゃんがお散歩をしていると、子猫や、子犬に会いました。そこで、みんなで、仲良く散歩に行くことにしました。ところが、ちょっぴり困ったことがおきました。それは…

「おでかけのまえに」
筒井頼子 作／林明子 絵／福音館書店

今日は日曜日。家族で、ピクニックに行く日です。あやこは、一生懸命に出かける仕度を手伝いますが、なかなかうまくいきません。

「お月さまのさんぽ」
竹下文子 作／土田義晴 絵／あかね書房

夜、お月さまが散歩に出かけると、なにかキラキラ光るものが見えました。「お月さまのさんぽ」を含むやさしいおはなしが8つのっています。

「ぽっけちゃんのおでかけ」
那須田淳 作／黒井健 絵／ひくまの出版

犬のぽっけちゃんが歩いていると、山羊や猫などいろいろな動物が声をかけてきました。ぽっけちゃんと動物たちのやりとりが可愛らしい絵本です。

⇩三鷹図書館☎43－9151

三鷹市長メールマガジン
メッセージ、活動記録、部長コラム、新着情報
三鷹市ホームページ・同携帯サイトから登録できます。

三鷹市広報番組　みる・みる・三鷹
武蔵野三鷹ケーブルテレビ5ch
1日4回放送
9:30/12:00/19:30/23:30
●第209回（3月6日～19日放送）
市のごみ処理施設がISO14001を取得／ファミリーサポート交流会

三鷹市市政情報番組
おはよう！三鷹市です
FMむさしの78.2MHz
月～金曜日10:20～25放送

広報みたかは三鷹市シルバー人材センター会員がお届けしています。
→シルバー人材センター☎48－6721